

目黒区土地利用現況調査結果について

1 調査の概要

土地利用現況調査は、都市計画法に基づき、概ね5年ごとに行っている都市計画に関する基礎調査のひとつである。土地利用の現況と変化の動向を把握することを目的とし、調査結果を街づくりの基礎資料として活用している。このほど、平成28年度の東京都調査をもとに、目黒区における土地利用状況を取りまとめた。

2 調査結果の概要

別冊「目黒区の土地利用2017」のとおり

(1) 土地利用の概要 [P14]

	公共用地	商業用地	住宅用地	工業用地	道路・公園・未利用地等
平成23年	12.2%	9.3%	49.7%	1.7%	27.1%
平成28年	12.3%	9.1%	50.9%	1.4%	26.3%
構成比推移	+0.1%	-0.2%	+1.2%	-0.3%	-0.8%

(2) 建物の概要

ア 用途別建物棟数の割合 [P18]

	公共施設	商業施設	住宅	工業施設
平成23年	2.3%	13.3%	81.7%	2.6%
平成28年	2.3%	12.6%	83.1%	2.0%
構成比推移	±0.0%	-0.7%	+1.4%	-0.6%

イ 構造別建物延べ床面積割合と不燃化率 [P26]

	耐火構造	準耐火構造	防火造	木造	不燃化率
平成23年	66.3%	13.1%	19.0%	1.6%	66.5%
平成28年	67.8%	14.9%	16.1%	1.2%	71.7%
構成比推移	+1.5%	+1.8%	-2.9%	-0.4%	+5.2%

ウ 階数別建物棟数と平均階数 [P28]

	1～3階	4～7階	8～15階	16階以上	平均階数
平成23年	45,815棟	3,622棟	540棟	15棟	2.4階
平成28年	46,388棟	3,869棟	576棟	18棟	2.5階
推移	+573棟	+247棟	+36棟	+3棟	+0.1階

3 図書の閲覧方法

区政情報コーナー、各図書館、都市計画課及び区ホームページ

〈参考〉町丁目別の不燃化率・不燃領域率

区・町丁目名	不燃化率		不燃領域率
	H23 (%)	H28 (%)	H28 (%)
目黒区	66.5	71.7	74.9
駒場一丁目	61.8	64.7	64.8
駒場二丁目	76.7	78.1	90.6
駒場三丁目	82.2	83.8	96.6
駒場四丁目	86.8	87.5	94.6
青葉台一丁目	87.2	89.3	86.9
青葉台二丁目	83.6	82.3	85.6
青葉台三丁目	82.3	85.7	87.5
青葉台四丁目	90.2	91.1	92.9
東山一丁目	69.1	71.6	74.3
東山二丁目	88.9	90.4	89.0
東山三丁目	81.3	82.2	85.5
大橋一丁目	96.5	97.7	97.6
大橋二丁目	89.4	90.2	92.6
上目黒一丁目	86.8	88.5	91.0
上目黒二丁目	66.0	70.7	72.6
上目黒三丁目	65.0	70.1	69.6
上目黒四丁目	46.5	53.4	50.7
上目黒五丁目	64.8	67.9	67.0
中目黒一丁目	81.1	85.2	87.6
中目黒二丁目	90.6	91.4	96.8
中目黒三丁目	69.4	72.1	70.9
中目黒四丁目	70.0	73.9	77.9
中目黒五丁目	54.6	61.5	64.2
三田一丁目	88.5	90.5	95.5
三田二丁目	77.1	80.1	79.3
目黒一丁目	78.0	82.9	85.8
目黒二丁目	86.3	88.5	91.4
目黒三丁目	65.4	73.1	74.1
目黒四丁目	54.9	62.5	63.4
下目黒一丁目	95.2	96.3	94.2
下目黒二丁目	75.0	80.9	82.3
下目黒三丁目	63.8	70.2	72.6
下目黒四丁目	53.3	60.5	59.0
下目黒五丁目	59.3	68.5	74.3
下目黒六丁目	73.1	79.6	84.6
中町一丁目	50.4	60.6	61.3
中町二丁目	65.9	70.1	69.6
五本木一丁目	61.8	66.9	63.4
五本木二丁目	56.9	63.0	65.3
五本木三丁目	57.3	66.3	62.6
祐天寺一丁目	43.9	51.4	48.8
祐天寺二丁目	73.6	78.2	80.8
中央町一丁目	77.9	81.6	83.0
中央町二丁目	64.1	71.2	69.8
目黒本町一丁目	58.3	69.2	66.5
目黒本町二丁目	73.8	78.9	81.0
目黒本町三丁目	61.8	66.2	67.7
目黒本町四丁目	45.9	53.3	55.6
目黒本町五丁目	48.4	56.0	55.9
目黒本町六丁目	49.9	56.3	56.7

区・町丁目名	不燃化率		不燃領域率
	H23 (%)	H28 (%)	H28 (%)
原町一丁目	54.3	58.7	58.0
原町二丁目	54.5	58.0	58.0
洗足一丁目	45.8	51.1	52.2
洗足二丁目	59.6	65.9	62.0
南一丁目	48.9	54.9	55.1
南二丁目	59.0	66.0	64.4
南三丁目	54.2	60.1	54.8
碑文谷一丁目	58.7	65.8	70.2
碑文谷二丁目	81.2	85.0	84.3
碑文谷三丁目	71.5	76.7	76.0
碑文谷四丁目	70.6	72.1	79.0
碑文谷五丁目	72.7	76.0	77.3
碑文谷六丁目	67.4	72.0	77.4
鷹番一丁目	71.1	76.3	74.2
鷹番二丁目	64.2	69.6	68.6
鷹番三丁目	70.8	75.0	73.1
平町一丁目	68.3	75.3	73.0
平町二丁目	64.3	70.0	68.0
大岡山一丁目	54.7	59.9	56.4
大岡山二丁目	79.9	83.5	98.0
緑が丘一丁目	51.1	58.8	73.6
緑が丘二丁目	64.0	69.1	68.6
緑が丘三丁目	53.4	59.4	62.1
自由が丘一丁目	74.7	77.5	76.4
自由が丘二丁目	78.5	82.2	80.5
自由が丘三丁目	50.2	58.5	56.0
中根一丁目	60.5	68.6	68.8
中根二丁目	70.7	74.6	76.7
柿の木坂一丁目	55.2	62.4	63.3
柿の木坂二丁目	65.3	72.6	66.1
柿の木坂三丁目	63.3	68.6	69.0
八雲一丁目	75.3	77.2	89.1
八雲二丁目	60.8	69.4	72.4
八雲三丁目	60.1	65.7	68.4
八雲四丁目	59.1	67.0	61.2
八雲五丁目	65.1	72.1	74.1
東が丘一丁目	69.1	73.3	70.5
東が丘二丁目	79.7	82.3	88.3

※「不燃化率」は耐火造と準耐火造の建物(建築面積)の割合を表す指標。

※「不燃領域率」は市街地の“燃えにくさ”を表す指標。
 不燃領域率が40%以上の水準に達すると、市街地の焼失率は急激に低下し、20~25%程度にとどまるようになります。
 また、60%以上に達すると延焼による焼失率は0%に近づき、70%を超えると延焼による焼失率はほぼ0になります。